

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H28-9号)

平成28年8月1日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成28年7月26～28日に伊勢湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は以下のとおりです。

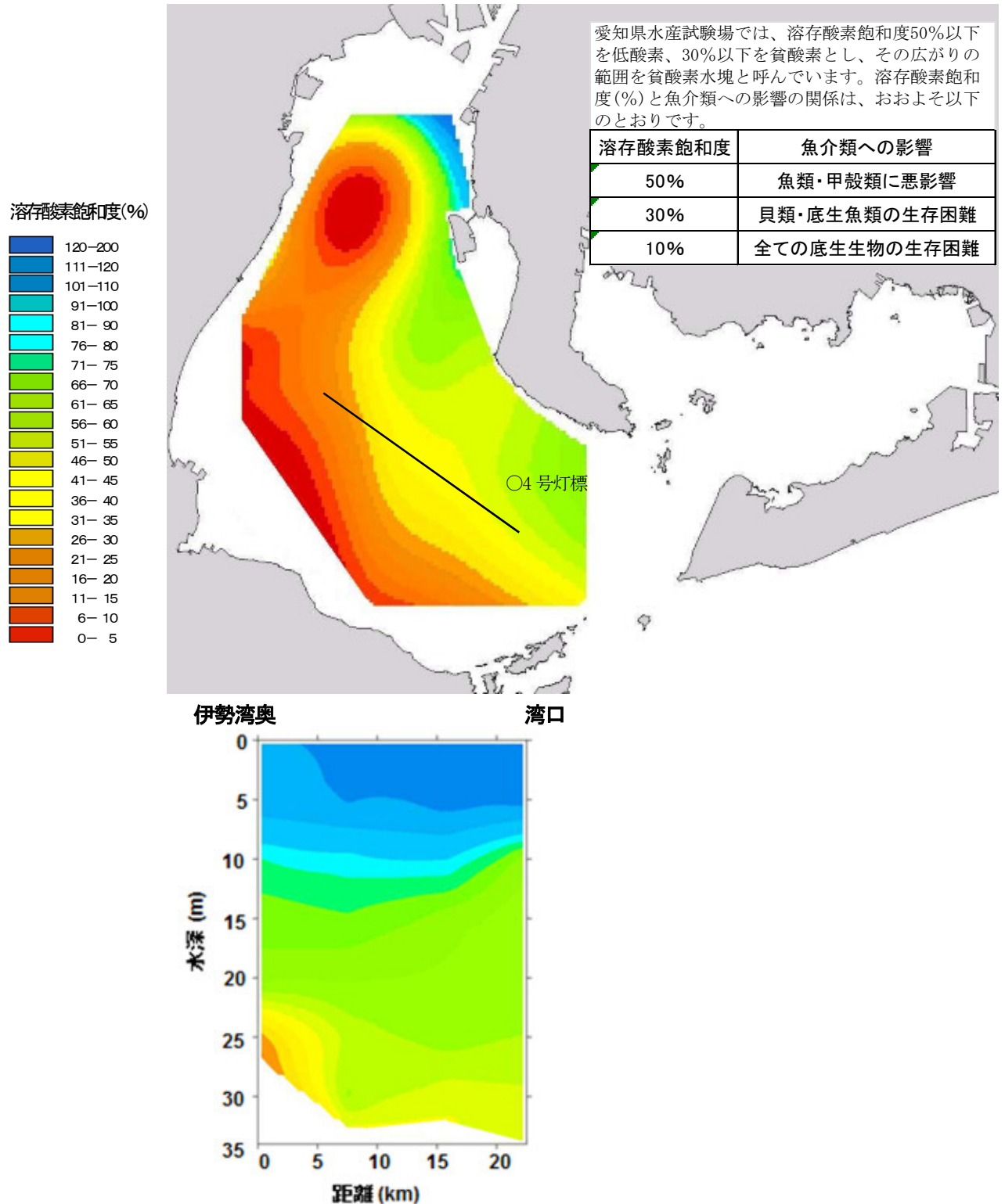


図1 伊勢湾(7月26～28日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「海幸丸」調査)

伊勢湾

7月26～28日の調査結果を図1に示しました。前回調査（7月1日）に比べて貧酸素水塊の規模は縮小しており、貧酸素水塊が湾西部に偏在している様子が観測されました（図1）。国交省中部地方整備局が所管している伊勢湾の水質モニタリングシステムの第4号灯標（内海沖）での観測データを見ると、7月19～22日は貧酸素水塊が中層で観測されており、底層へ外海水が流入していたものと考えられます（図3）。このため、東部の貧酸素水塊は西側へ移動または海水混合により解消したものと思われます。

今後は、外海水の流入が弱くなると、再度、湾中央部を中心に貧酸素水塊が拡大する可能性があります。

	水温(°C)			塩分		
表層	24.3	～	26.1	25.7	～	30.9
底層	17.7	～	22.1	32.7	～	34.2

図2 調査時の水温、塩分

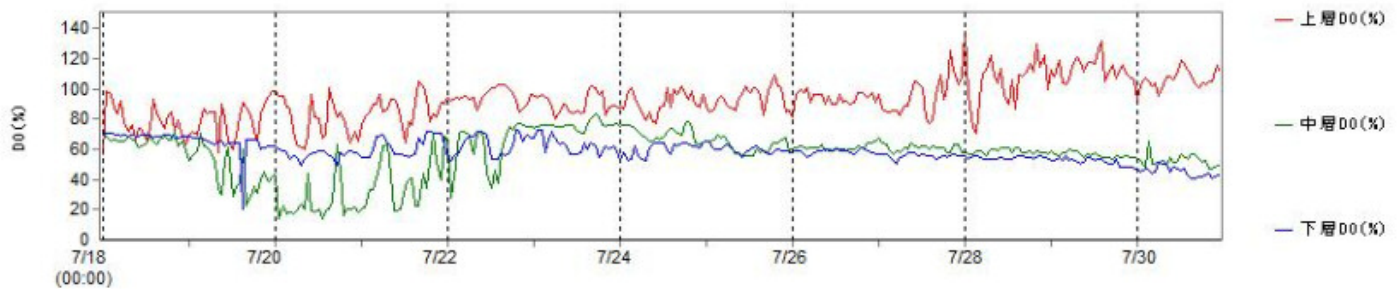


図3 伊勢湾モニタリングシステムの第4号灯標の溶存酸素飽和度(DO)の経時変化：7月18～30日（中部地方整備局HPより）

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

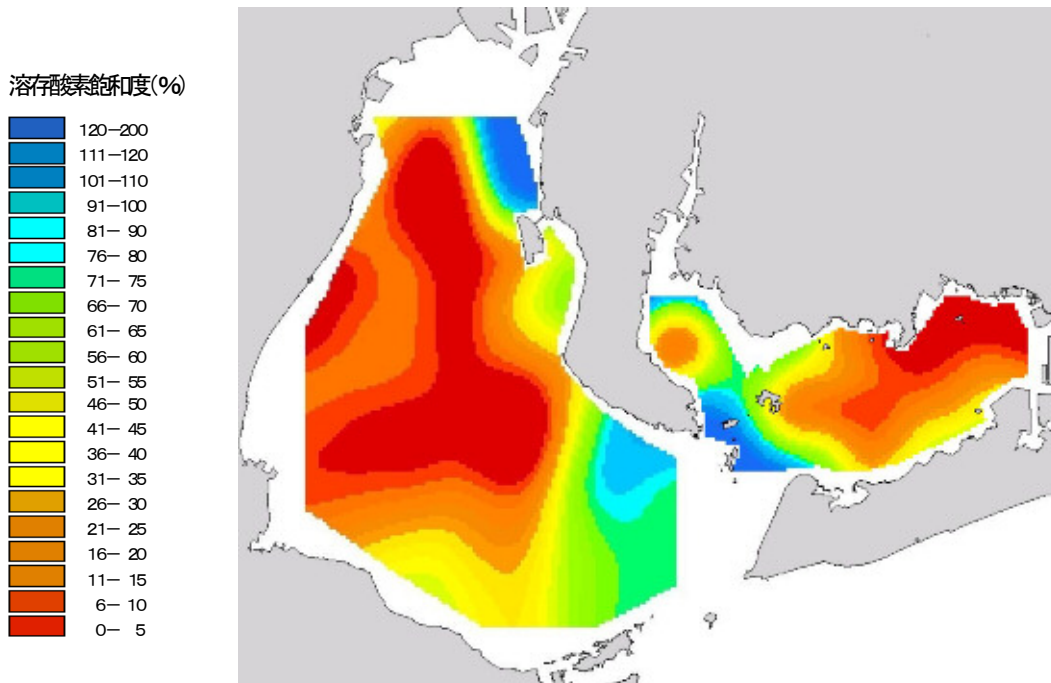


図4 平成28年7月1日（伊勢湾）、7月26日（三河湾）